

あこ

瀬戸内市文化協会

令和3年2月20日発行

第17号



山鳥毛さん ちょう ぼうの里帰りとその魅力

― 刀剣の産地と国宝

「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」―

長船地域を中心とした吉井川流域は、刀剣類の一大産地として古くから有名です。

この地域で作られた刀剣類は、美しく、品質的にも非常に優れ高く評価されています。このことは、国宝や重要文化財の指定数にも表れており、国宝に指定されている刀剣類111口のうちの47口が備前国で作られています。その多くが吉井川流域で作られたものです。

国宝の中でも、特に優れた作品として挙げられるものの一つに「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」（以下 山鳥毛）があります。

この太刀は、戦国大名として知られる上杉謙信を始め、上杉家の歴代の藩主に愛され、江戸時代を通じて同家の秘蔵品として大切にされてきました。

― 山鳥毛の特徴と見どころ ―

山鳥毛は作者の名前が記されていませんが、姿や刃文などから福岡一文字派の作と考えられます。本作には様々な特徴がありますが、その中の一つに刀身の姿が挙げられます。山鳥毛と同時代に作られた作品の多くが、研ぐことで本来の姿よりやせていることが多いのですが、本作はあまり研がれなかったためか、作られた当時に近い力強い堂々

とした姿を残しています。

また、号の由来ともいわれる刃文は、まるで山鳥の羽毛のような高低に富んだ躍動感のある華麗な丁子ちょうじを焼いており、角度によって刃文の様子が様々に変化することから見る人の心を掴んでいます。

このように特徴や見どころに富む本作品は、その出来映えに加え、上杉家の伝来品という来歴から昭和27年に国宝に指定されています。

― 生産地に留まらなかった国宝たちと

山鳥毛の里帰り ―

長船地域を中心とした吉井川流域で作られた作品の中には、国宝に指定されているものがありますが、その多くは消費地である都市圏へ移っていったため、刀剣類の優れた作品を多く輩出したこの地には、国宝や重要文化財に指定されている作品がほとんど残っていません。

このため、地元で作られた国宝を見るためには東京国立博物館など国宝や重要文化財を保有している都市圏の博物館に行かなければなりません。

しかし、「山鳥毛里帰りプロジェクト」により、多くの個人や企業・団体から計約8億8千万円の寄附金を受け、令和2年3月に山鳥毛を瀬戸内市が購入し都市圏に行かずとも国宝を見ることが可能となりました。



米沢城内にある上杉神社（山形県米沢市）

（江戸時代を通じて、米沢城内で山鳥毛は保管されていました）



上杉謙信公像

―里帰り後の初の展示―

山鳥毛が生まれ故郷の瀬戸内市に約800年ぶりに里帰りをしたことを記念し、令和2年秋季テーマ展「刃文―千変万化の美―」(9月10日～10月4日)開催中に特別陳列を行いました。

本展は、入館時に検温や手指消毒の実施に加え、入館者数を1時間40人に制限した事前予約制とするなど感染症対策を行ったうえで、の開催となりました。

多くの支援を受けて購入した山鳥毛の里帰り後の初の展示ということもあり公開2日目朝には、事前予約が全日満員となる人気ぶりとなり、改めて山鳥毛への関心の高さを実感しました。

このため、予約が取れず来館できなかった方も多くおられ次回の展示では、感染症拡大が収まり、できるだけ多くの方に見ていただき、山鳥毛をはじめとする日本刀の素晴らしさを感じていただけることを願っております。

来館者のSNSや展示に対するアンケートでは、「刃文について詳しく説明されておりわかりやすく、山鳥毛で感動した」「地元の刀剣を見ることができて嬉しかった」「感染症対策でゆっくりと見ることができた」など、山鳥毛の魅力を感じたことに加え、感染症対策のおかげで安全・安心に観覧できたという感想があり本展に対する高い評価を得ました。

展示期間中は、備前長船刀剣博物館(以下 博物館)外でも様々な活動が行われました。博物館に併設している売店では、山鳥毛の展示に合わせグッズや新規メニューなどを次々開発して商品化することで来館者だけでなくSNSでも話題にな

りました。博物館近くの鞆負神社(ゆきえ)では、地元有志が中心となって里帰りを記念したイベントを開催するなど、地域全体で里帰りを盛り上げました。

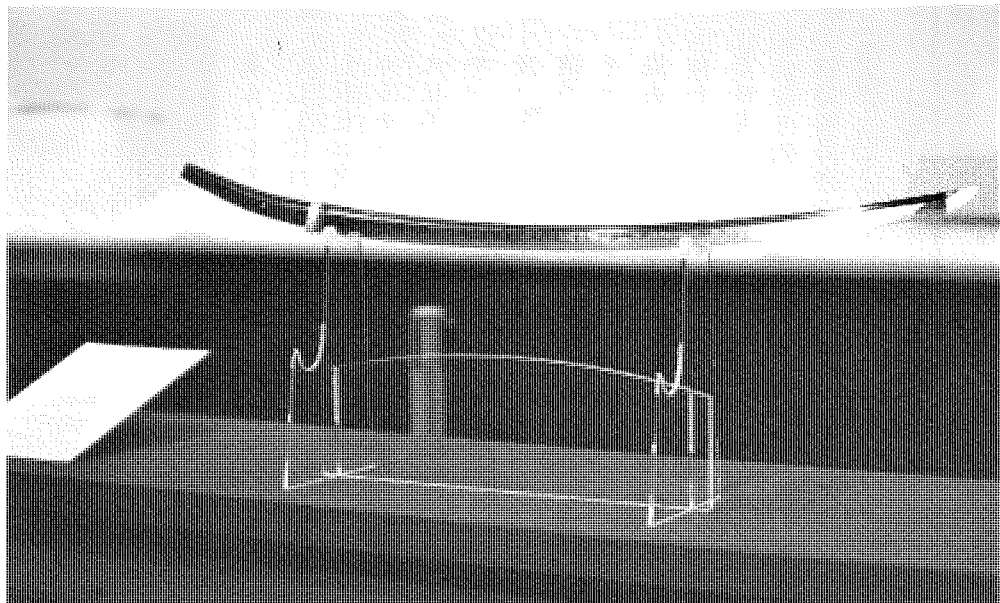
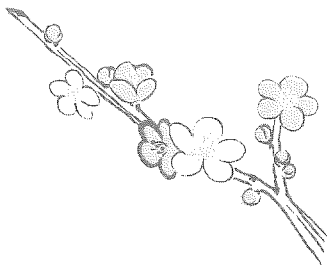
また、来館者の中には博物館を見た後に、市内の飲食店や牛窓のオリーブ園などの周辺の観光地に足を伸ばし瀬戸内市内を満喫する人もいて、SNS上では「長船にまた来ます」「瀬戸内市が好きになった」などの投稿が数多く見られました。

―山鳥毛の今後の活用―

今回開催した展示経験を活かし、刀剣の歴史や芸術性を紹介するためだけでなく、山鳥毛をシンボルとして、日本刀が市民が誇る文化となり、日本刀による地域活性化につながるよう、定期的な公開や情報発信とともに地域と連携した取組を進めていきます。

備前長船刀剣博物館学芸員

(杉原賢治)



国宝「太刀無銘一文字(山鳥毛)」

令和2年 秋季テーマ展「刃文―千変万化の美―」

【同時開催 特別陳列 国宝】

「太刀無銘一文字(山鳥毛)」より

つなぐ…展



つなぐ会は、「人と人、文化と文化、来場者と共に楽しみ、つなぐ…」を基本に平成24年度に発足しました。毎年一回、瀬戸内市立美術館ギャラリーSで異分野交流展『つなぐ…展』を開催しています。今年度も第8回『つなぐ…展』の開催を予定しています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためやむなく中止と致しました。世界的にも感染拡大が進み、昨夏開催予定であった五輪東京大会が今夏に延期されたことは周知の通りです。

感染を防ぐための新しい生活様式は（距離の確保、マスクの着用、手洗いの励行、三密の回避）等ですが、これらの人と人をつなぐのに困難な条件には当初、正直戸惑いました。それでも習慣になりつつある今日では予防を徹底し、皆で心をつなぎ、このコロナ禍をのり超えようと同向きにとらえ直すことができます。



(昨年の会場の様子)

異分野の異なる視点により、工夫を重ね合わせ、コロナ禍中であっても、いえコロナ禍中だからこそできる『つなぐ…展』を無事に開催したいものです。
(つなぐ会事務局長 松川広己)

第8回つなぐ…展 テーマ「暉光」

令和3年3月10日(水)～3月14日(日)

10時～17時 最終日は16時まで

会場：瀬戸内市立美術館3階ギャラリーS 入場無料

内容：展示とライブ

※新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

ひとりひとりの誰もが創造びと
それぞれの暮らしの中で
内なるものを見つめ耕しつづける
暮らしの中から生まれ
暮らしの中で育まれ
暮らしを彩る文化
CULTは耕す
UREは場所
カルチャーは耕された場所を意味する
人は精神の大地に小さな種をまく
やがて
その種は芽吹き葉を茂らせ花を咲かせ
実を結ぶ
その喜びを分かち合おう
過去と未来のはざまのこの時間
たとえ
その実が鮮やかではなくとも

(森崎昭生)

各部の活動紹介

備前長船菊花展について

「備前長船菊花展」は、今年度で三十四回を迎え岡山県においても有名な菊花展に発展してまいりました。

来場された多くの見学の方々には、出品者の丹精込められた素晴らしい各種の菊花を堪能されたことと思っております。

この菊花展は、私達「菊づくりを推進する会の会員」及び「長船町公民館菊づくり講座受講生」が一年がかりで苗から育てて来た大小約八百鉢の菊花を、長船町公民館屋外南側に開設された会場に約一ヶ月間出品されました。

出品内容は、大菊花壇・盆栽花壇・だるま・福助・懸崖・玉つくり・集合花壇・そして大人気の特別花壇及び切り花菊から構成されています。

今年度は、世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスの影響で、長船町公民館での菊講座の開催もままならず、菊花展開催が心配されました。

幸いなことに、屋外での開催であることから、万全の対策を講じることで、菊花展実行委員会において開催が承認されました。

関係者の皆様のご協力・ご支援に感謝しているところでございます。

来年度からもスタッフ一同菊花展を続けていきたいと思っておりますので、皆様のご支援・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

菊づくりを推進する会（石黒徹夫）



将棋クラブ

「新型コロナウイルス」との闘い

当クラブは毎週木曜日（13:00～18:00）に例会を行っており、年3回「将棋大会」を開催しています。

前年度春からの「新型コロナウイルス」の影響で将棋の活動ができなくなるとの危機感から4月には会員にアンケートを取った結果、8割が続けたいとの回答があり、役員会で協議の末に「新型コロナウイルス」対策を行い活動を再開することに決定。

5月の時点でウイルス対策費として約15万円かかるとの試算。

そして会員の寄付金、また文化協会より助成金をいただき、公民館での活動体制を整備しました。

主な内容として、対策パネル、フェイスマスク、アルコールでの手指消毒、マスク、ソーシャルディスタンスの確保、入室前の体温・体調チェックの実施、用具等の消毒等。それらにより活動を戻しつつあります。

「新型コロナウイルス」により困っていること

- ①将棋道具等の消毒……毎回1時間かかる
- ②会場準備……30分
- ③会場かたづけ……30分

④借りられる会場の広さの関係上、人員は16名程度までしか使えず、希望者全員が活動できず、新型コロナウイルスが終息するまで現在の規模での活動を続けざるを得ないと考えております。

なお、小中学校等への出前講習は現在中止になっていますが、再開できることを期待しています。

ともあれ、今後も地域での「将棋文化」の普及・向上を目指して行く決意です。

瀬戸内市将棋クラブ（松尾俊介）



対策パネル越しでの対戦



ソーシャルディスタンスを保ちます

着付け110番（成人式）

私たちは平成12年度から、成人式に着物や袴で出席される皆さんが、安心して式典や記念行事に臨めるようお手伝いをさせていただいています。

着くずれを直したり草履の鼻緒切れや草履の裏ゴムの外れを直したり、トイレの援助等々です。思わぬハプニングがあったり、時にはびっくりするような相談に应诉したりもします。なかには式典が始まる前から気分が悪くなり、着物を全部脱いで気分が回復するのを待つて最初から着付けをすることもありました。また、式典後に苦しくなり、うずくまった人を車いすに乗せ移動することもあります。

毎年、様々なお手伝いがありますが、新成人の方々から「ありがとうございます」と言われるたびに心が和みます。

新成人の皆さんが、安心して晴れの一日を楽しんでくださるよう今後もこの取り組みを続けたいと思います。

前結び着付け（野崎 泉）



「メッセージDVD」を施設に

6年前に9人で歩みを始めた小さな訪問合唱団ティンカーベルは、老人ホーム「楽々園」への初訪問以来、日本の唱歌、楽しい歌、元気が出る歌、そして命の尊さと感謝を伝える歌を沢山の人々にお届けしてまいりました。

26施設121回訪問、イベント出演79回を果たし、団員は現在43名。行く先々の施設や、病院、保育園で、大変喜んでいただきました。お陰様で、岡山県より「わかば賞」、市民病院、瀬戸内市からも感謝状をいただくことができました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、全く訪問活動ができません。そこで、一人一文字を書いて皆さんへのメッセージを作り、ふるさと、いのちの歌、ありがとうの花など数曲の合唱動画を収録したDVDを制作し、訪問先にお送りすることをこのコロナ禍での心の訪問とさせていただきます。

せとうちこども合唱団
ティンカーベル（上野 洋子）



「皆さん♡」

また絶対会いに行くよ
幸せの魔法をかけに
うたとえがおをいっぱい
届けに行くから待っててね」

糸操り人形劇

人形劇指導三十二年

瀬戸内市では、同市出身の竹田喜之助氏を顕彰して始めた「喜之助人形劇フェスタ」を毎年8月に開催している。そのフェスタに、市内で活動している糸操り人形劇団が参加。そして、アマチュア人形劇団を指導して下さっているのが鈴木友子氏（東京都在住）である。この紙面をお借りして、鈴木友子氏とアマチュア人形劇団について紹介したい。

鈴木氏は、1963年の夏「竹田人形座」に入門。その当時、竹田人形座は、人形師 竹田喜之助氏と竹田扇之助氏のコンビによって日本の伝統的な糸操り人形の技に磨きをかけていた。「竹田人形座」では、二人を師匠と尊敬し、人形制作においては、喜之助氏の斜め前に座り、人形作りの作業を手掛けた。そして、鶴の笛、黒姫ものなどがたり、明治はるあきなど数多くの作品に出演した。



竹田喜之助氏

現在、鈴木氏は尊敬する師匠 喜之助氏（瀬戸内市）と扇之助氏（長野県飯田市）の故郷において、アマチュア人形劇団に伝統的な糸操り人形の制作や操りの技術を後世に継承しようとする育成に力を注いでいる。



鈴木友子氏

アマチュア人形劇団の活動

市内には「つきみ草」「びっくりばこ」、子ども劇団「星の子きらり」「どんぐり」「りすっこ」など糸操り人形五劇団が活動している。毎年フェスタ上演に向けて、それぞれの持ち味を生かした人形制作や練習に励んでいる。昨年度のフェスタでは「さるかに物語」（つきみ草）、「ぶんぶくちやがま」（びっくりばこ）、「海の中の大冒険」（邑久小学校人形劇クラブどんぐり）、「へっこきよめさま他」（子ども糸あやつり人形劇団星の子きらり）、「うらしまたろう」（今城小学校人形劇クラブりすっこ）を上演した。また、各劇団が協力して「黒田官兵衛」「一遍上人」や刀剣にち

なんだ「刀かじ誕生ものがたり」を上演している。今年度はコロナ禍により、残念ながらフェスタが中止となったが、どの劇団も新作に向けて意欲を燃やしている。

瀬戸内市が生んだ竹田喜之助氏から鈴木友子氏へそして私たち瀬戸内市のアマチュア人形劇団へ、日本の伝統的な糸操り人形劇を、後世につないでいきたい。



アマチュア人形劇部（城山雅恵）

地域伝統文化の紹介

地蔵院の人形供養

当院は、江戸時代末期より和歌山県加太町にある淡嶋神社の分身が祀られていることから、淡島様ゆかりのお寺としてその名が知られるようになりました。

淡嶋神社では毎年3月3日に雛納め、雛流し、お焚き上げの神事が行われていきます。このことになみ、当院も昭和62年の3月より人形供養祭を行うようになり、今では瀬戸内市の年中行事として定着し「人形供養の寺」として親しまれるようになりました。

毎年3月の最終日曜日に人形供養祭を開催しており全国から約3,000体以上の人形が集まり、境内のあらゆる所に人形をお祀りし盛大に供養祭を開催しております。

また、地元の子どもたち参加のもと、静円寺の境内から人形を乗せた花車を引きます。それから、人形地藏・人形供養塚・淡島様に献花や人形を奉納し、子供たちの健やかな成長をお祈りします。

これまで、人形供養祭では檀信徒、地元の方々のご協力と信頼で築き上げてきました。誰もが故郷の文化・伝統行事として誇りに思っ頂けるように、これからも心を込めて開催してまいります。

横尾山地蔵院住職 (長谷川 己哲)



本堂前



門前



花車

会員募集

「瀬戸内市文化協会」の会員を募集しています。みんなで瀬戸内市の文化を育てていきましょう。

◎お問い合わせ・お申し込みは

- ◆中央公民館 (22-3761)
 - ◆教育委員会社会教育課 (34-5604)
- へご連絡下さい。

会員の受賞・入選

おめでとうございます
 第67回 日本伝統工芸展「入選」
 黒井 博史
 「鉄軸幾何文鉢」(陶芸)
 第20回 中四国詩人賞
 森崎 昭生

表紙

日本画 横林 佳代子
 画歴 2007年
 2010年 日春展 初入選
 岡山県美術展覧会
 山陽新聞社賞
 現在 岡山県美術家協会会員
 請の会会員
 岡山県美術展招待

令和2年度 瀬戸内市文化協会役員

- 顧問 森 陶岳 岡村三平
 参 与 奥田桂峰 西浦千万太
 会 長 黒井千左 岡崎吉三郎
 副 会 長 三上澄明
 事 務 局 長 小林直明 横山好美
 事 務 局 次 長 松川広己
 監 事 上野洋子
 常任理事 森崎昭生 奥田悦代
 常任理事 長谷川将彦 (上野洋子) 立岡隆子
 妹尾 薫 (三上澄明) 藤間善清
 梶谷 栄 石光順恵 山下皓与
 神戸淑子 奥田利勝 坂手得二
 (小林直明) 三木裕紀 稲荷 作
 (松川広己) 奥田雄山 西 岳海
 刈屋長子 柴田和子 四十塚正子
 池畑寛美子 (横山好美) 下山公子
 松尾俊介 野崎 泉 馬場初根
 石黒徹夫

訃報

瀬戸内市の文化・芸術発展に尽力された、清水 徹氏(前文化協会会長)は、令和2年1月ご逝去されました。ご生前の功績に対して、瀬戸内市教育委員会から表彰されました。謹んでお悔やみ申し上げます。
 受賞歴
 平成14年 日本吹奏楽指導者協会より特別表彰(地域貢献)
 平成20年 全日本吹奏楽連盟より全日本吹奏楽連盟永年功労者表彰

《編集委員》

- 小林直明 赤木輝美子 野崎 泉
 妹尾 薫